

活気ある日常を取り戻そう

再スタート続々

新型コロナウイルス
5類へ移行

5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に変更されました。この変更により、3月以降にはマスクの着用を個人が判断することとされるなど、令和2年2月以降に始まったさまざまな制約が順次緩和されています。この春、市内各地では、これまで中止や延期、制限付きで開催などしてきた行事をコロナ禍のやり方に近づけて実施する動きが始まっています。



4月29日に行われた池田地区敬老会。令和2～4年度は、ほとんどの地区で敬老会の開催を見送った



コロナ禍で一部利用制限をしていた砂川公園テントサイトは、5月8日から全区画利用可能となった



3月に挙行された小・中学校の卒業式では、児童・生徒・教職員がマスクを外して出席することを基本とした。写真は総社小学校の卒業式

5類移行後の感染対策は、個人や事業者の自主的な判断となりますが、ウイルス自体が変わったわけではありません。引き続き、高齢者や妊娠している人、基礎疾患がある人など重症化リスクの高い人をウイルスから守るという視点をもつことが大切です。手洗いや換気など基本的な感染対策は継続しつつ、さまざまな活動を活性化していきます。

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎ 0866-92-8278)



～中学校部活動の新しいカタチ～ 部活動の地域移行 始めました

問い合わせ 部活動地域移行推進室 (☎ 0866-92-8392)



5月9日、地域部活動指導員を3人委嘱した

子どもたちが継続してスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保することや教員の長時間労働解消などを目的に、昨年度から議論を進めていた市内中学校の部活動地域移行について、今年度、新しい形での部活動を開始しました。

地域の人を休日の部活動での指導者として配置するため5月9日、地域部活動指導員3人を委嘱しました。地域部活動指導員は、平日と休日の指導内容を互いに補い生かし合うよう、学校とよく連携しながら指導にあたります。

5月13日には、総社中学校と昭和中学校による合同部活動を開始。複数の学校による継続的な合同部活動は、市内で初の取り組みです。また、合同部活動の開始にあたり、総社中学校では男子バスケットボール部を、昭和中学校では女子バスケットボール部・野球部・卓球部・美術部・男子バレーボール部をそれぞれ新設。生徒の部活動の選択肢

が広がっています。

今後、休日の活動は原則両校合同で行われ、活動場所までの移動には、市で借り上げたバスを利用。負担感を軽減するとともに、生徒が部活動に参加しやすい環境づくりにつなげていきます。

地域部活動指導員を募集中

主な活動は、中学校部活動での技術指導や健全育成指導、大会への生徒の引率など。詳細は、市ホームページで確認できます。

市HP 

ある日の合同部活動



昭和中の生徒がバスで総社中学校へ移動



地域部活動指導員の指導の下、練習に励む



総社中の生徒と合流し、活動開始



あいさつをして活動終了。昭和中の生徒はバスで帰宅